

※ 当文書は、スイス・チューリッヒで 2019 年 2 月 14 日に発表されたプレスリリースをベースに作成した日本語版です。

## メディアリリース

2019 年 2 月 19 日 チューリッヒ／東京

### ロベコ SAM、サステナビリティ・イヤーズブック 2019 年版を発行 – 「SAM」ブランドを採用

- 新興国企業の間で ESG への取り組みが堅調に進捗
- イヤーズブックにおいて SAM ブランド復活
- 全評価対象企業のパーセンタイル順位を新たに公開
- イヤーズブック掲載日本企業は 51 社から 53 社に増加

サステナビリティ投資に特化した資産運用会社として 23 年以上の実績を有するロベコ SAM(スイス・チューリッヒ)は、本日、[サステナビリティ・イヤーズブック 2019 年版](#)の発行を発表しました。本年は、36 カ国の 458 社が高評価企業として掲載されました。当イヤーズブックは、世界の大手企業のサステナビリティへの取り組み実績を明らかにするもので、各産業の上位 15%以内の評価を受けた企業が掲載されています。また、その中で特に優れた企業をゴールド、シルバー、ブロンズ・クラスに選定しています。16 回目の発行となった本年のイヤーズブックは、SAM ブランドを冠して発行されました。SAM ブランドは、コーポレート・サステナビリティ評価(CSA)に関連した企業向けの特有の活動やサービスを示すブランドとして、このたび導入されました。

本年、イヤーズブックに掲載された日本企業は、昨年の 51 社から 53 社に増加しました。そのうち、5 社がゴールド・クラスを受賞しました。5 社のうち、ANA ホールディングス株式会社、伊藤忠商事株式会社、コニカミノルタ株式会社は 2018 年から連続の受賞となり、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、住友林業株式会社は新たにゴールド・クラスに選定されました。また、3 社がシルバー・クラス、12 社がブロンズ・クラスに選定されました。

イヤーズブック 2019 年版 (イヤーズブック 2018 年版との比較)			
地域	掲載企業数	全受賞企業数	ゴールド・クラス企業数
アジア太平洋*	113 (-1)	50 (-15)	12 (-2)
新興国	85 (+4)	51 (+7)	13 (+2)
欧州	172 (-13)	104 (-19)	32 (-8)
北米	88 (-11)	31 (-6)	9 (+1)
計	458 (-21)	236 (-33)	66 (-7)
日本	53 (+2)	20 (-3)	5(-)

\*日本を含む

さらに、日本企業 7 社がインダストリー・ムーバーに認定されています。インダストリー・ムーバーは、各産業上位 15%以内の企業のうち、前年からの評価の改善幅が最も大きかった企業に与えられます。

日本がアジア地域のサステナビリティ投資をリードしていることは以前より知られていますが、日本企業は足下でサステナビリティへの取り組み活動をさらに活発化しています。このことは、日本企業からの CSA 参加への関心の高まりや、サステナビリティ・イヤーズブック 2019 年版への掲載を果たした日本企業数増加といった結果にも表れています。

ロベコ SAM の共同 CEO であるダニエル・ワイルド(PhD)は、次のように述べています。「サステナビリティ・イヤーズブック 2019 年版への掲載を果たした 458 社の皆様に、心から祝意を表します。イヤーズブックの土台を成す CSA は、20 年前に開始されて以降常に進化を続け、企業の財務上重要な ESG への取り組みを評価する代表的な手法としての揺るぎない地位を築いてきました。その結果、イヤーズブックは企業のサステナビリティへの洞察を提供する非常に信頼性の高い情報ソースと位置付けられています。イヤーズブックの透明性向上のため、今回は初めて全評価対象企業のパーセンタイル順位を公開し、同業他社との比較を可能にしています。」

## SAM ブランド復活

SAM ブランドは、過去に使用され親しまれたブランド名であり、このたびロベコ SAM の活動のうちの ESG データ、レーティング、ベンチマーキング・サービスの提供に特化した活動を示すブランドとして



ESG Data,  
Ratings &  
Benchmarking

再導入されました。SAM ブランド再導入を決めた大きな理由の1つとして、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) による、広く定着したダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスなどの指数算出を目的とした CSA データ利用が挙げられます。市場におけるこうしたサービスへの関心の高まりを背景に、これらの活動を SAM ブランドとして区別することにより、特有のサービスとして明確化しました。また、これにより S&P DJI による CSA 結果のより幅広い利用も可能になるほか、欧州ベンチマーク規制に準拠した、資産運用サービスとの明確な区別にもつながり、CSA 評価プロセスの客観性を強化することにもなります。[SAM ブランドの詳細はイヤーブック・マイクロサイトをご覧ください。](#)

ロベコ SAM の共同 CEO であるマリウス・ドルフマイスターは、次のように述べています。「既に親しまれてきた SAM ブランドを再導入することとなり喜ばしく思います。ロベコ SAM は、過去 20 年にわたり、数百に及ぶデータポイントの評価を通じて、財務上重要なサステナビリティ情報をまとめた世界でも最も包括的なデータベースを構築してきました。また、これを基盤に、企業の ESG 評価、インデックスへのデータ提供、企業のサステナビリティ実績を他社と比較するベンチマーキング・サービスなど、独自のサービスを提供する専門的なビジネスを築いてきました。SAM ブランドの下で行うこれらの活動は、企業のサステナビリティへの取り組み状況を理解し向上させるツールとしての CSA の価値をより高めるものです。」

## イヤーブックの透明性向上

今回初めて、全評価対象企業のパーセンタイル順位を[サステナビリティ・イヤーブック 2019 年版マイクロサイト](#)上で公開し、最新の ESG 企業ランキングへのアクセスを可能にしました。産業毎に各評価対象企業のパーセンタイル順位が表示され、同業他社との比較で、企業別の ESG 実績の概要が提供されています。この新しい取り組みの実現後も、ロベコ SAM と評価対象企業との間の秘密情報保持は確保されます。パーセンタイル順位へのアクセス拡張の目的は、情報開示、透明性、企業のサステナビリティ実績に関する意思決定をより推し進めることを目指すものです。

## サステナビリティ・イヤーブック 2019 年版掲載レポート

ロベコ SAM では、毎年、サステナビリティに関連した最重要テーマを見極め、当社の専門知識に基づくレポートを発表しています。イヤーブック 2019 年版は、企業のサステナビリティへの取り組み向上のための社会関係資本をテーマに詳細な調査を行い、4 本の新しいレポートを公表しています。

- [Slowly but Surely: gradual progress towards gender equality](#) (ゆっくりと着実に: ジェンダー平等への緩やかな進展)
- [Fair Wages – a key to effective social capital management](#) (適正賃金 – 効果的な社会関係資本マネジメントへのカギ)
- [No Firm is an Island: using the SDGs to bridge modern portfolio management to the future](#) (企業は孤島ではない: SDGs の活用により現代のポートフォリオ管理を将来につなげる)
- [Five Years of Pushing for Change – assessing corporate tax strategies](#) (変化を求め続けた5年間: 企業の税務戦略の評価)

###

より詳細については、こちらをご覧ください: [サステナビリティ・イヤーブック 2019 年版マイクロサイト](#)

サステナビリティ・イヤーブック: [ダウンロード](#)

[個別企業ランキング](#)

[評価方法概要](#)

※上記にご案内するサイトは全て英文サイトです。

## ロベコ SAM について

ロベコ SAM は、1995 年設立のサステナビリティ投資に特化した投資専門会社です。同社では、資産運用、インパクト分析と投資、サステナビリティ評価、ベンチマーキング・サービス、ESG データ等を提供しています。資産運用サービスとして、世界の機関投資家、アセットオーナーや金融仲介業者向けに、サステナビリティや資源有効活用のテーマ戦略や、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に注目した運用戦略を提供し、優れた実績を残しています。ロベコ SAM は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスと提携し、世界的に認知されているダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や、S&P ESG ファクター・ウェイト指数シリーズ (ロベコ SAM のスマート ESG 手法を活用し、ESG を独立したファクターとして扱った初の指数ファミリー) を公表しています。同社は、コーポレート・サステナビリティ評価 (CSA、4,600 社を超える上場企業の年次の ESG 分析) に基づき、世界最大級の財務上重要なサステナビリティ情報の包括的なデータベースを構築しています。また、ロベコの運用資産のうち 1,140 億米ドルは、運用プロセスに CSA データの活用が組み入れられています。

ロベコ SAM は 1929 年にオランダで設立された資産運用会社ロベコの関連会社です。両社ともにオリックス・コーポレーション・ヨーロッパ N.V. (オリックス・ヨーロッパ) の子会社です。オリックス・ヨーロッパは、オリックス株式会社の資産運用業務の牽引役を担っています。ロベコ SAM はサステナビリティ投資実現へのコミットメントの反映として、国連責任投資原則 (UNPRI) や国連グローバル・コンパクト、クライメート・アクション 100+ の署名機関となっており、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) を支持し、Eurosif、スイス・サステナブル・ファイナンス、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト (CDP)、ポートフォリオ脱炭素化連合 (PDC) に加盟しています。2018 年 12 月 31 日時点で、ロベコ SAM の顧客資産 (運用、投資助言、ライセンス) は約 215 億米ドルにのびます。

**重要な法的事項:** これらのページに記載されている詳細は商品販売を意図するものではありません。これらは情報提供のみを目的としています。ここに記載された詳細についての妥当性や正確性については何ら責任を負うものではありません。記載されている証券は販売や売却が確約されたものではなく、また、投資助言の顧客に推奨されるものではありません。これらの証券に対する投資による過去または未来の運用成果を示唆するものではありません。SAM はロベコ SAM AG の登録商標です。SAM は、ロベコ SAM の ESG データ、ESG レーティング・サービス、ESG ベンチマーキングの提供に特化した事業部門のサービスや商品のマーケティングに使用されます。SAM は独立した法人ではありません。Copyright © 2019 RobecoSAM – all rights reserved.